

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	4	高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり		
単位施策名称	1	高齢者福祉の充実		
施策の方向性	●高齢者が様々な分野で生きがいを感じられるよう、高齢者の社会参加や元気づくりにつながる取り組みを支援します。 ●保健・医療・福祉が連携して高齢者を支えるため、高齢者福祉サービスの充実を図ります。 ●住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民、民間団体、行政機関などが一体となった支援の輪を広げます。 ●高齢者ができるだけ介護を必要としない生活を送り、いつまでも元気に暮らせるよう、介護予防事業の充実を図ります。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	元気な高齢者の割合	%	目標値		78.8	79.1	79.4	79.7	80.0
			実績値	78.0	78.3	79.4	80.5		
			達成状況		未達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	
（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3:	新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限もあり、年間を通して自由に活動できなかったこともあり、目標には届かず未達成となりました。
R4:	新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限もありましたが、年間を通して少しずつ自由に活動できるようになり、目標は達成となりました。
R5:	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで個人及び各団体等の活動が活発となり、目標は達成となりました。
・評価及び対応方針	
R3:	高齢者いきいき活動ポイント事業を活用し、元気な高齢者を増やしていくためにも、現在24%である事業参加率を上げていく必要があります。今後は、広報啓発による新規参加者の開拓と、参加者の活動継続が図れるような仕組みづくりを考えていきます。
R4:	高齢者いきいき活動ポイント事業を活用し、元気な高齢者を増やしていくためにも、事業参加率を上げていく必要があります。今後は、広報啓発による新規参加者の開拓と、参加者の活動継続が図れるような仕組みづくりを考えていきます。
R5:	高齢者いきいき活動ポイント事業を活用し、元気な高齢者を増やしていくためにも、事業参加率を上げていく必要があります。今後は、広報啓発による新規参加者の開拓と、参加を促進する仕組みづくりを考えていきます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	高齢者いきいき活動ポイント事業	35,882	34,325	38,456	108,663
2	介護施設整備助成事業	0	0	153	153
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		35,882	34,325	38,609	108,816

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

基本情報			総合戦略
事務事業の名称	高齢者いきいき活動ポイント事業	事業番号	141101
担当部署名	福祉保健部 高齢介護課		
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	4:高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり		
単位施策	1:高齢者福祉の充実		

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 活動実績に基づき付与されるポイント数に応じて、奨励金を支給しました。 ・65歳以上の対象者（ポイント手帳等発送者） 12,743人 ・参加者数 3,062人（参加率24%） ・支給実人数 3,057人（死亡等による支給中止3件、追加支給2件を除く。） ・活動団体数 628団体 ○ 令和2年9月1日から広島市と、令和4年1月1日から海田町と連携して実施しています。
R4	○ 活動実績に基づき付与されるポイント数に応じて、奨励金を支給しました。 ・65歳以上の対象者（ポイント手帳等発送者）12,753人 ・参加者数 3,450人（参加率26.6%） ・支給実人数 3,449人 （口座未登録による支給不能者1名） ・活動団体数 661団体 ○ 令和2年9月1日から広島市と、令和4年1月1日から、海田町と連携して実施しています。
R5	○ 活動実績に基づき付与されるポイント数に応じて奨励金を支給しています。 （1pt＝100円、上限10,000円） ・65歳以上の対象者 12,650人 ・事業参加者人数 3,765人（参加率29.8%） ・奨励金支給実人数 3,765人 ・奨励金支給総額 30,559,100円（平均8,117円/人） ・活動団体数 688団体 ○ 令和2年9月1日から広島市と、令和4年1月1日から、海田町と連携して実施しています。

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	参加者数	人	目標値	3,835	3,859	3,867	3,876	3,883
			実績値	3,062	3,450	3,765		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
指標の設定方法		高齢者の社会参加が目的のため、活動の参加者数を指標としました。						

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	35,882	13,822	4,485	0	9,688	7,887
R4	34,325	0	0	0	0	34,325
R5	38,456	10,363	4,807	0	10,383	12,903
合計	108,663	24,185	9,292	0	20,071	55,115

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などの活動制限もあり、目標は未達成となりました。ポイントが上限額に達した時点でポイント手帳を提出され、残りの期間は活動されない参加者に活動を継続していただくことが課題です。
R4	新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などの活動制限もあり、活動参加者数の目標は達成できませんでした。ポイントが上限額に達した時点でポイント手帳を提出され、残りの活動期間は活動されない参加者に活動を継続していただくことが課題です。
R5	参加率は、事業開始（R3年度）の24.0%から年々増加していますが、目標の30%には到達していません。（R5年度29.8%） なお、幅広い制度周知と効果的な事業実施について検討しました。

・評価及び対応方針

R3	今後、参加者数を増やしていくために、更に広報活動を積極的に実施し、制度について幅広い周知を図ります。
R4	今後、参加者数を増やしていくために、更に広報活動を積極的に実施し、制度について幅広い周知を図ります。
R5	更なる制度周知と効果的な事業実施のため、令和6年度に手帳の交付方法等を変更する予定（手上げ方式）です。令和5年度は全対象者（65歳以上13,000人）への個別通知を2回行い、積極的な制度周知に努めました。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などの活動制限もあり、目標は未達成となりました。事業開始から1年が経過し、ポイントが上限額に達した時点でポイント手帳を提出される方も多く、ポイント到達後の活動継続が課題です。
R4	新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などの活動制限もあり、目標は未達成となりました。事業開始から1年が経過し、ポイントが上限額に達した時点でポイント手帳を提出される方も多く、ポイント到達後の活動継続が課題です。
R5	事業目標である30%には到達しませんが、少しずつ参加率は増加していることから、高齢者の関心は高まっています。引き続き参加者の増加を目指し、事業の実施方法等を研究していきます。

・評価及び対応方針

R3	今後、参加者数を増やしていくために、更に広報活動を積極的に実施し、制度について幅広い周知を図るとともに、参加しやすい仕組みづくりや活動継続できる工夫をしていくことも必要です。
R4	今後、参加者数を増やしていくために、更に広報活動を積極的に実施し、制度について幅広い周知を図るとともに、参加しやすい仕組みづくりや活動継続できる工夫をしていくことも必要です。
R5	相互に事業実施している1市1町と連携するとともに、あらゆる場での広報活動等を積極的に行います。また、参加しやすい仕組みづくりや活動継続しやすい制度設計等、更なる推進を図ります。

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

総合戦略

事務事業の名称	介護施設整備助成事業	事業番号	141102
担当部署名	福祉保健部 高齢介護課		
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	4:高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり		
単位施策	1:高齢者福祉の充実		

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 令和5年度開始事業のため実績なし
R4	○ 令和5年度開始事業のため実績なし
R5	○ 府中町地域密着型サービス事業所等設置及び運営事業者選定委員会設置規則に基づき選定委員会を開催し、看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備にむけて事業者の公募を行いました但提案者がいませんでした。

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	新規助成数	施設	目標値	-	-	1	-	1
			実績値	-	-	-	-	-
			達成状況	-	-	未達成	-	-
指標の設定方法		介護施設の充実を図ることが目的のため、新規助成数を指標としました。						

4. コスト情報（決算）

（単位:千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	0					
R4	0					
R5	153	0	0	0	0	153
合計	153	0	0	0	0	153

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析

R3

R4

R5

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
-
-
事業実施にあたっての予定地確保に苦慮する事業者が多く、複数の問い合わせ及び2回の公募実施にも関わらず応募事業者はありませんでした。次回の公募期間や周知方法等について改めて検討しました。

・評価及び対応方針

R3

R4

R5

-
-
介護サービス基盤整備の必要性から、令和6年3月に策定した第9期介護保険事業計画（R6～R8）においても引き続き整備するものとし、令和6年度において公募を実施しました。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

R3

R4

R5

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
-
-
第8期介護保険事業計画における1事業所の整備計画のもと、令和5年度に2回の公募を行いました但、応募がありませんでした。昨今の資材(物価)高騰及び介護人材確保の課題もあり、実施ができなかったと分析します。

・評価及び対応方針

R3

R4

R5

-
-
当該介護事業は重要なサービスであり施設整備に関する要望も多いため、第9期介護保険事業計画においても計画を継続します。